【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】令和4年11月11日(2022.11.11)

【国際公開番号】WO2021/199865
【出願番号】特願2022-511686(P2022-511686)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｄ 53/26(2006.01)
Ｂ０１Ｊ 20/26(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｄ 53/26 ２００
Ｂ０１Ｊ 20/26 Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和4年9月12日(2022.9.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
空気中の水分を吸収または排出可能な第１粒子と、
空気中の水分を吸収または排出可能な第２粒子と、を備え、
前記第１粒子は、吸湿性物質を含む第１調湿性液体と、
前記第１調湿性液体を保持する第１保持部と、を有し、
前記第２粒子は、前記吸湿性物質を含む第２調湿性液体と、
前記第２調湿性液体を保持する第２保持部と、を有し、
前記第１保持部及び前記第２保持部は、高分子材料を形成材料とし、
前記第１調湿性液体は、前記第１調湿性液体が含む水分量に応じて色が変化する第１指示薬を有し、
前記第２調湿性液体は、前記第１指示薬の変色域とは異なる変色域において、前記第２調湿性液体が含む水分量に応じて色が変化する第２指示薬を有する調湿材。
【請求項２】
前記第１指示薬及び前記第２指示薬は、ｐＨ指示薬である請求項１に記載の調湿材。
【請求項３】
前記第１調湿性液体および前記第２調湿性液体の少なくとも一方は、２種以上の前記吸湿性物質を含む請求項１または２に記載の調湿材。
【請求項４】
前記吸湿性物質は、吸湿性の多価アルコールおよび吸湿性の無機塩を含む請求項３に記載の調湿材。
【請求項５】
前記第１保持部及び前記第２保持部を構成する前記高分子材料は、吸水性ポリマーである請求項１から４のいずれか１項に記載の調湿材。
【請求項６】
前記第１粒子は、前記第１調湿性液体を含むコアと、
前記高分子材料で形成されたシェル状の前記第１保持部と、を有するコアシェル構造を有し、
前記第２粒子は、前記第２調湿性液体を含むコアと、
前記高分子材料で形成されたシェル状の前記第２保持部と、を有するコアシェル構造を

有する請求項１から４のいずれか１項に記載の調湿材。
【請求項７】
前記第１粒子は、前記第１調湿性液体を含むコアと、
前記高分子材料で形成されたシェル状の前記第１保持部と、を有するコアシェル構造を有し、
前記第２粒子が有する前記第２保持部は、吸水性ポリマーである請求項１から４のいずれか１項に記載の調湿材。
【請求項８】
一定の色を示す固定色粒子をさらに有する請求項１から７のいずれか１項に記載の調湿材。
【請求項９】
前記固定色粒子は、前記吸湿性物質を含む調湿性液体と、
前記調湿性液体を粒子状に保持する保持部と、を有する請求項８に記載の調湿材。
【請求項１０】
請求項１から９のいずれか１項に記載の調湿材と、
前記調湿材を収容する収容部と、を有し、
前記収容部は、少なくとも一部が光透過性を有する調湿装置。
【請求項１１】
前記収容部は、前記第１粒子を収容する第１収容部と、
前記第２粒子を収容する第２収容部と、を有する請求項１０に記載の調湿装置。
【請求項１２】
前記調湿材が含む水分を除去する除去部をさらに有する請求項１１に記載の調湿装置。
【請求項１３】
前記第１粒子は、前記第１調湿性液体を含むコアと、前記高分子材料で形成されたシェル状の前記第１保持部と、を有するコアシェル構造を有し、
前記第２粒子が有する前記第２保持部は、吸水性ポリマーであり、
前記除去部は、前記第２収容部よりも前記第１収容部に近い位置に配置している請求項１２に記載の調湿装置。